

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス・グラスプ ツアーエディション	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.501	△RG 0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ナノデス・グラスプ ツアーエディション

フレアーの幅
[] インチ

PAPからピンとの距離
4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：ナノデス・グラスプⅢ

フレアーの幅
[] インチ

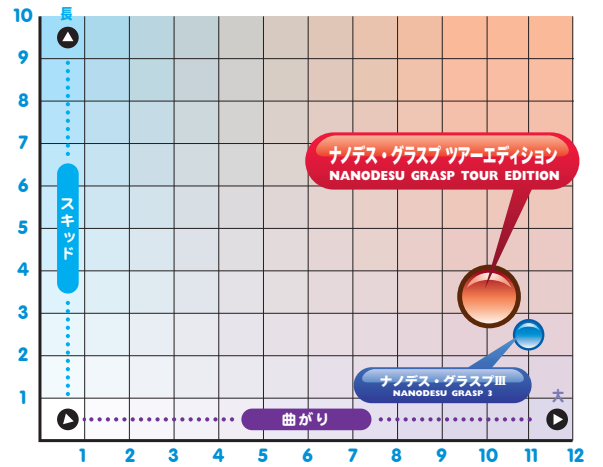
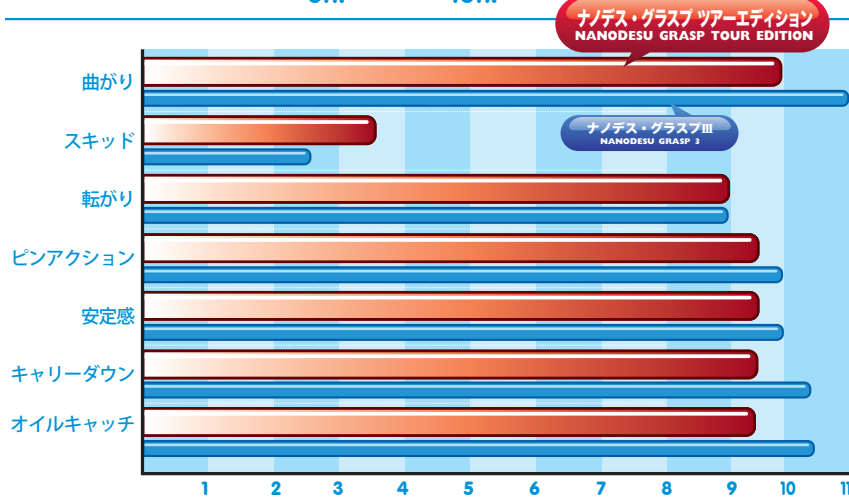
PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

今までのグラスプは、ナノデスシリーズの中で最もオイルに強く、ヘビーオイル対応の領域を担ってリリースしてきました。それはナノデスシリーズとしてアキュライズやツアープレミアムシリーズとしっかりと差別化し、グラスプシリーズとしてオイルに対するしっかりとしたブレーキング(減速)を意識できることと、曲がりの持続を意識して作成されてきたからです。

今回のグラスプ ツアーエディションはオイルに対するブレーキングを抑え目にして、バックエンドの動きに注視した「今までにないグラスプ」を表現するものであり、ツアーエディションのネーミングも今までにないグラスプの新たな挑戦でもあります。

私たちABSボール開発チームは日本エボナイト社とタッグを組み、様々なサンプルボールを作成してツアーエディションを名乗るに相応しいパフォーマンスを求め続けました。それはただグラスプを弱めたイメージの性能ではなく、キャッチの中にスキッド感と高いレベルでの曲がりの質に拘りました。特にナノデスシリーズは、妥協とは一切無縁で納得がいくまで性能と向き合うので日本のコンディションにマッチしないことはありません。徹底的な吟味と日本エボナイト社の匠のなせる技がこのツアーエディションを作り上げました。私たちが特に拘ったのはキャッチとバックエンドのバランスです。グラスプほどキャッチを先行させずにバックエンドの力強さに一番の印象を持って頂くこと。エネルギーロスがないスキッドとキャッチのバランスを叶えるために幾度のテストを行い、Nano-Thane4.0のパールをベースに添加剤の調整を行い、表面加工を施して、ツアーエディションの性能を導きだしました。

ヘビーオイル用とはまた違った、グラスプの次に使うグラスプとして多くの皆様に愛されるボールとなるでしょう。

特記事項

パール素材のスキッド力を活かしながらキャッチとのバランスを活かしたツアーエディション。バックエンドに意識をおいたスペシャルなスペック。それがグラスプ ツアーエディションです。